

Mizuho Lite CMS

証明書マニュアル

(第 1.1 版)

2024 年 3 月

<はじめに>

1. Mizuho Lite CMS ご利用時の留意事項……………P. 1

<電子証明書発行>

2. 電子証明書発行アプリケーションインストール ……P. 2～3
3. 電子証明書 新規発行……………P. 4
4. ルート証明書 インストール……………P. 5～6
5. 中間認証局証明書 インストール……………P. 7～8

<電子証明書更新>

6. 電子証明書発行アプリケーション/電子証明書更新……………P. 9～10

<その他>

7. 問題発生時の対処方法……………P. 11～12

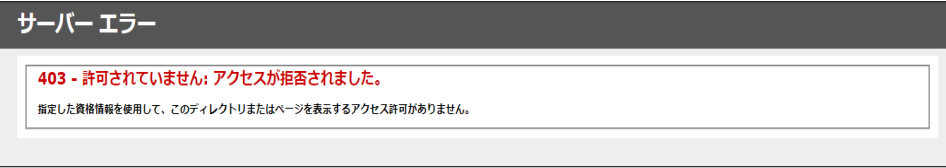
* 本マニュアルに記載の画面イメージは Microsoft Edge の画面になります。

1.Mizuho Lite CMS ご利用時の留意事項

Mizuho Lite CMS（MLCMS）をご利用いただきありがとうございます。
サービスご利用開始時や電子証明書の更新時における留意事項をご案内いたします。
MLCMSをご利用いただく前に、ご確認くださいますようお願いいたします。

1. MLCMSへのアクセス前に電子証明書をインストールしてください

電子証明書がインストールされていない状態でMLCMSへアクセスすると、以下のようなエラー画面が表示されます。
本マニュアルをご参照のうえ、電子証明書のインストールをお願いいたします。

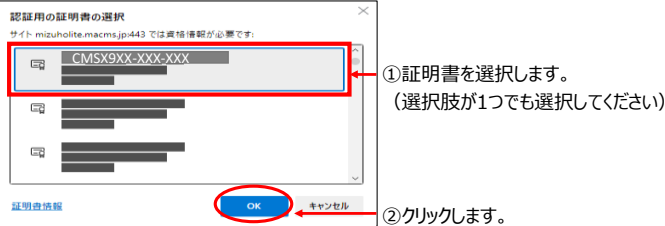


2. アクセス時は電子証明書を正しく選択してください

MLCMSの電子証明書を選択せずにMLCMSへアクセスすると、前項と同様「403 - 許可されていません：アクセスが拒否されました」というエラー画面が表示されます。
電子証明書選択画面で、「CMSX9XX-XXX-XXX」と記載されている電子証明書を選択し、OKを押下してください。

※電子証明書の更新時は「CMSX9XX-XXX-XXX」と記載されている証明書が新旧2つ 表示される場合があります。この場合は最新の日付の証明書を
選択してください。

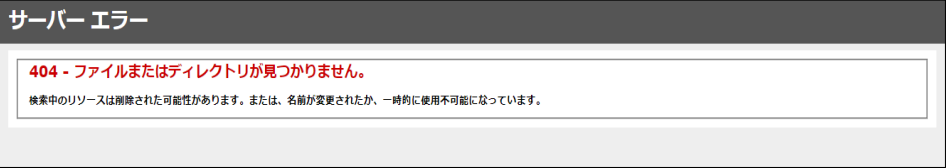
■クライアント証明書の選択画面例



3. MLCMSへの接続URLをご確認ください

MLCMSへアクセスする際、Microsoft Edgeで誤った接続URLを指定すると以下のようなエラー画面が表示されます。MLCMSの接続URLは統括会社さまへ
ご案内しておりますので、ご確認をお願いいたします。

※MLCMSの接続URLの例：「https://mizuholite.macms.jp/XXXXXXXXX/macms」



【ご注意】

「Mizuho Advanced CMS」（MACMS）からMLCMSへ移行されたお客さまへ
MACMSとMLCMSの接続URLは異なります。MACMSの接続URLを入力してしてもMLCMSへは接続できませんのでご注意ください。

2. 電子証明書発行アプリケーションインストール

1. Microsoft EdgeもしくはGoogle Chromeを起動し、以下のURLを入力して以下のURLを入力してMizuho Lite CMS電子証明書発行・更新サイト(以下、「電子証明書発行・更新サイト」)にアクセスします。

URL <https://www.ccissue.opencanvas.ne.jp/issueweb/0001/MZ0001002C/>

2. 「電子証明書 発行」をクリックします。



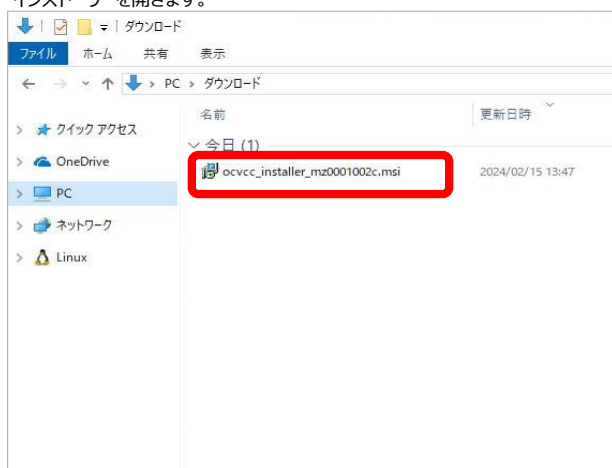
3. 証明書発行サイトの「こちら」をクリックし、証明書発行アプリケーションのインストーラーをダウンロードします。



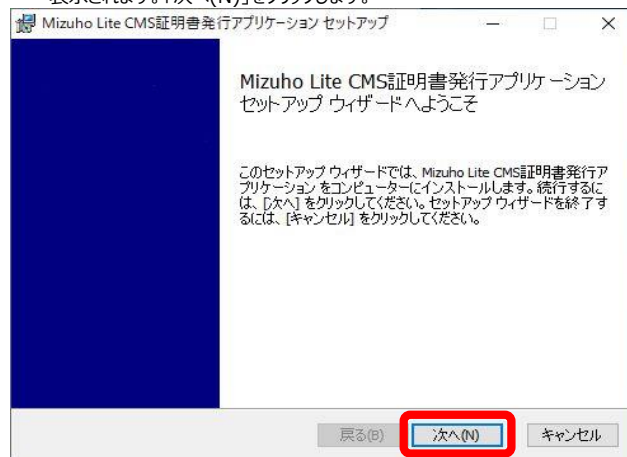
注意

- ・管理者ユーザでない場合にインストール時に管理者パスワードを求められる画面が表示されます。証明書発行アプリケーションでは管理者権限を必要とする操作があることから表示されます。管理者パスワードを入力し、「はい」をクリックしてください。

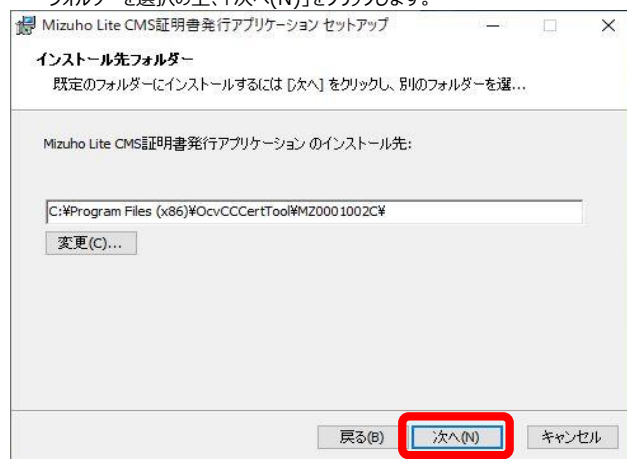
4. ダウンロードされた「ocvcc_installer_mz0001002c.msi」を選択し、インストーラーを開きます。



5. 「Mizuho Lite CMS 証明書発行アプリケーション セットアップ」画面が表示されます。「次へ(N)」をクリックします。



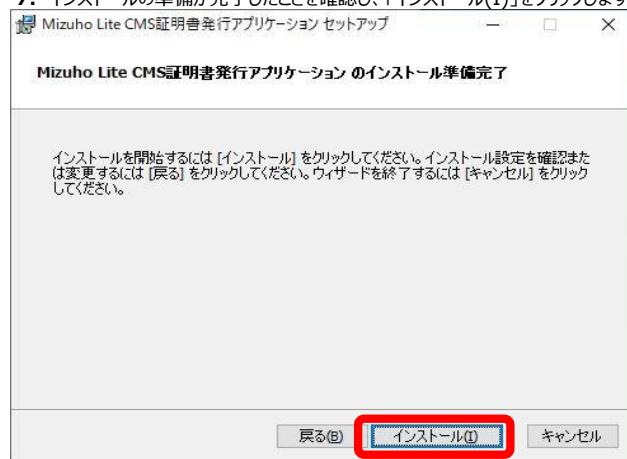
6. インストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。フォルダーを選択の上、「次へ(N)」をクリックします。



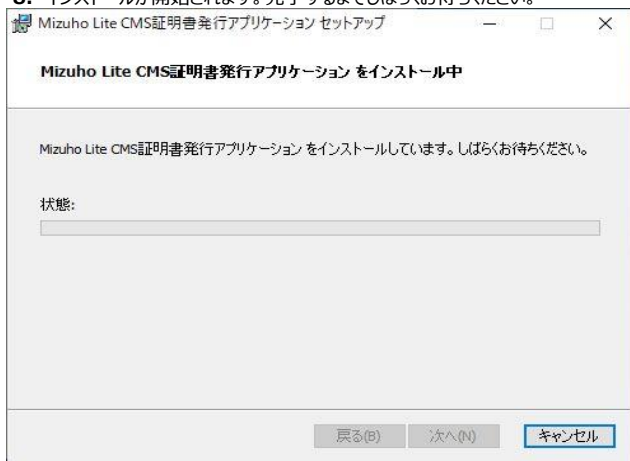
補足

- ・ 証明書発行アプリケーションのインストール先フォルダーは、Windows OSのbit数によって下記となります。
64bitOSの場合 C:\Program Files (x86)\OcvCCCertTool\MZ0001002C\
32bitOSの場合 C:\Program Files\OcvCCCertTool\MZ0001002C\

7. インストールの準備が完了したことを確認し、「インストール(I)」をクリックします。



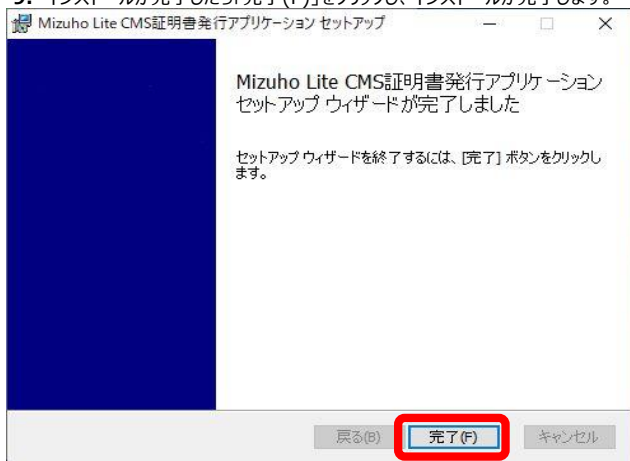
8. インストールが開始されます。完了するまでしばらくお待ちください。



注意

- ・管理者ユーザでない場合にインストール時に管理者パスワードを求められる画面が表示されます。
証明書発行アプリケーションでは管理者権限を必要とする操作があることから表示されます。
管理者パスワードを入力し、「はい」をクリックしてください。

9. インストールが完了したら「完了(F)」をクリックし、インストールが完了します。



補足

- ・完了後、インストーラーのファイル「ocvcc_installer_mz0001002c.msi」は不要になります。
お使いのパソコンから削除してください。

3.電子証明書 新規発行

1. Microsoft EdgeもしくはGoogle Chromeを起動し、以下のURLを入力してMizuho Lite CMS電子証明書発行・更新サイト(以下、「電子証明書発行・更新サイト」)にアクセスします。

URL <https://www.ccissue.opencanvas.ne.jp/issueweb/0001/MZ0001002C/>

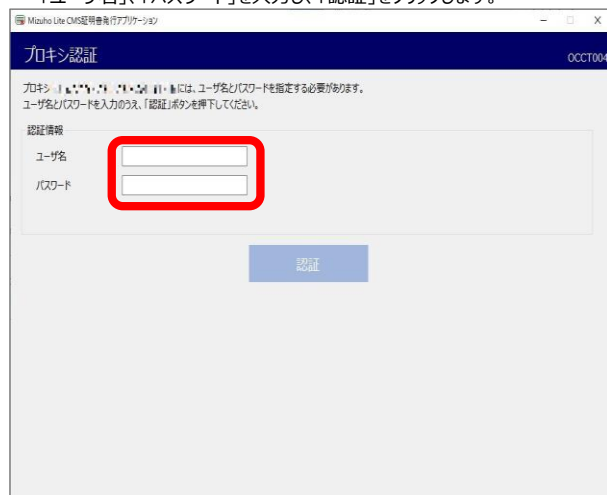
2. 「電子証明書 発行」をクリックします。



3. 「証明書発行アプリケーションを起動」をクリックし、証明書発行アプリケーションを起動してください。



4. プロキシでの認証が必要な場合は「プロキシ認証」画面が表示されます。「ユーザ名」、「パスワード」を入力し、「認証」をクリックします。



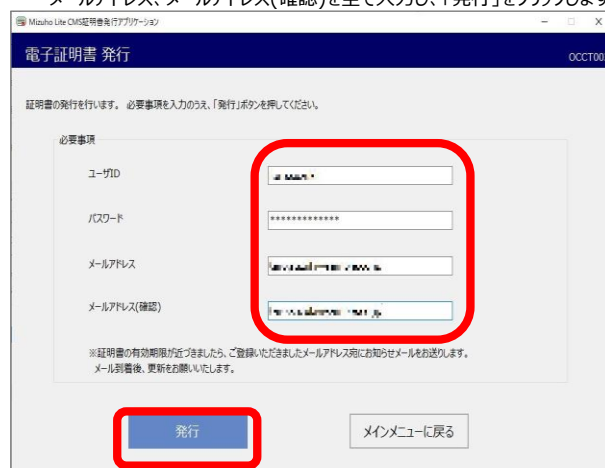
補足

- ・プロキシ認証画面で入力する「ユーザ名」「パスワード」は会社・組織によって異なります。ご不明な場合はご担当者までご確認していただくようお願いいたします。

5. 「電子証明書発行・更新メインメニュー」画面で、「証明書発行」をクリックします。



6. 「電子証明書 発行」画面が表示されます。ユーザID、パスワード、メールアドレス、メールアドレス(確認)を全て入力し、「発行」をクリックします。



補足

- ・電子証明書発行画面で入力する「ユーザID」「パスワード」は統括会社さまへご連絡しております。メールアドレスは電子証明書の期限満了と更新を知らせるメールをお送りさせていただく際に必要となります。

7. 「電子証明書 発行結果」画面が表示されます。証明書インストールの完了と、メールアドレスが登録されたことを確認し「閉じる」をクリックします。



4. ルート証明書インストール

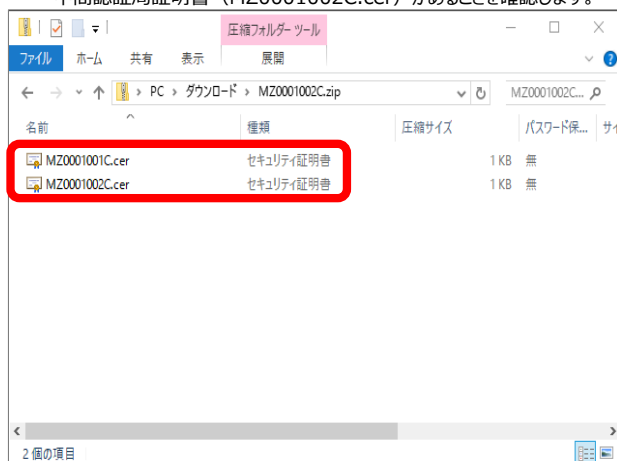
1. Microsoft EdgeもしくはGoogle Chromeを起動し、以下のURLを入力してMizuho Lite CMS電子証明書発行・更新サイト(以下、「電子証明書発行・更新サイト」)にアクセスします。

URL <https://www.ccissue.opencanvas.ne.jp/issueweb/0001/MZ0001002C/>

2. 「ルート証明書 ダウンロード」をクリックします。



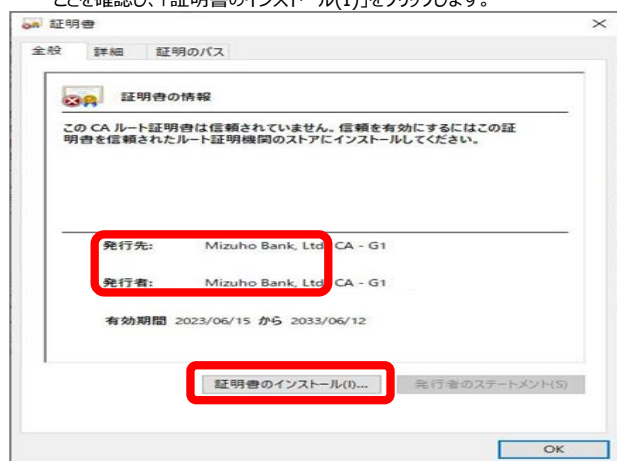
3. 表示されるダウンロードダイアログの「ファイルを開く」をクリックします。zipファイルを解凍し、ファイル内にルート証明書 (MZ0001001C.cer)、中間認証局証明書 (MZ0001002C.cer) があることを確認します。



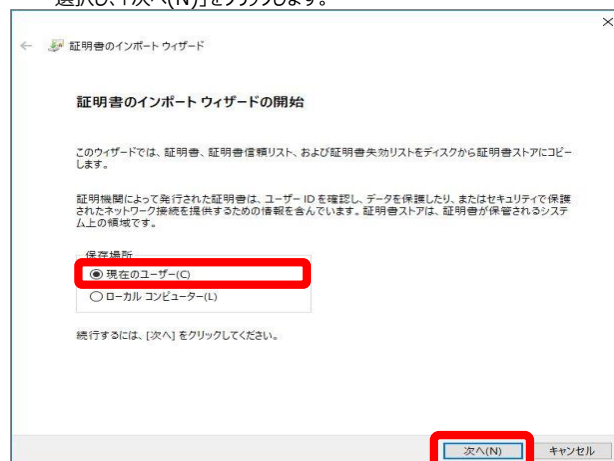
補足

・ダウンロードダイアログに「デバイスに問題を起こす可能性があります。このままファイルを保存しますか?」という警告メッセージが表示される場合があります。その際は [保存] をクリックしてください。

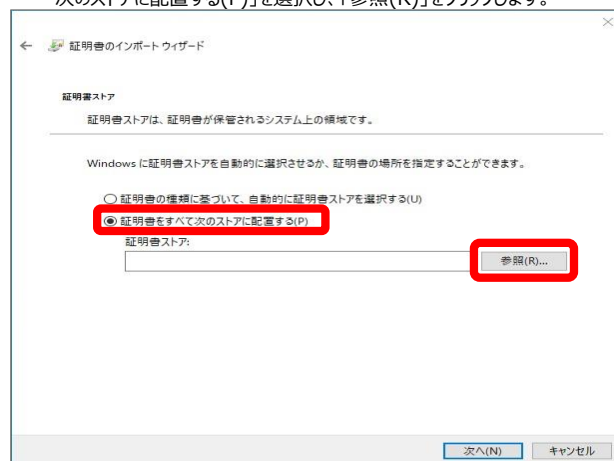
4. フォルダ内のルート証明書をダブルクリックすることで、ルート証明書のプロパティ画面が表示されます。発行先および発行者欄に「Mizuho Bank, Ltd.」と表示されていることを確認し、「証明書のインストール(I)」をクリックします。



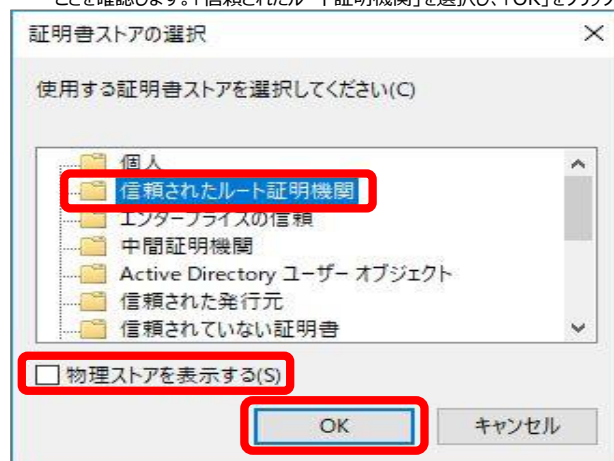
5. 「証明書のインポート ウィザード」画面の「保存場所」にて「現在のユーザー(C)」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



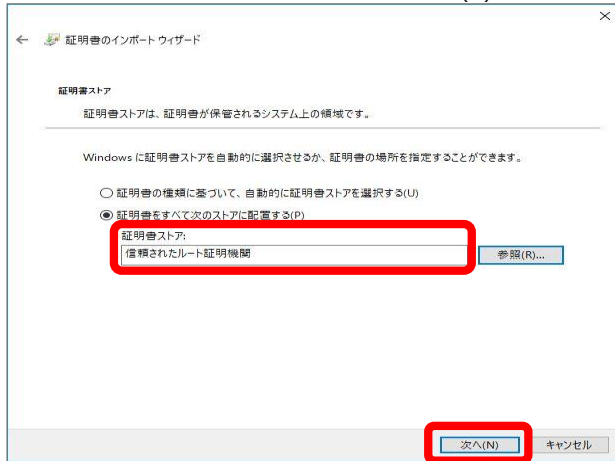
6. 「証明書のインポート ウィザード」画面の「証明書ストア」にて「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」を選択し、「参照(R)」をクリックします。



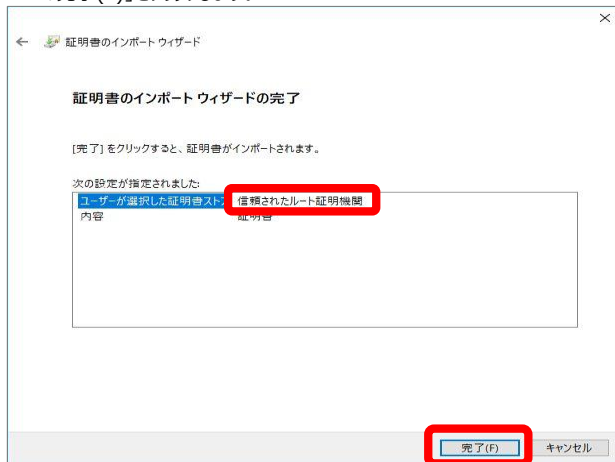
7. 「証明書ストアの選択」画面で「物理ストアを表示する(S)」が選択されていないことを確認します。「信頼されたルート証明機関」を選択し、「OK」をクリックします。



8. 「証明書のインポート ウィザード」画面で「証明書ストア」の欄に、「信頼されたルート証明機関」と表示されていることを確認し、「次へ(N)」をクリックします。



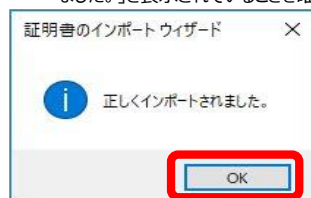
9. 証明書のインポート ウィザードの完了画面が表示されます。「ユーザーが選択した証明書ストア」の欄に「信頼されたルート証明機関」と表示されていることを確認し、「完了(F)」をクリックします。



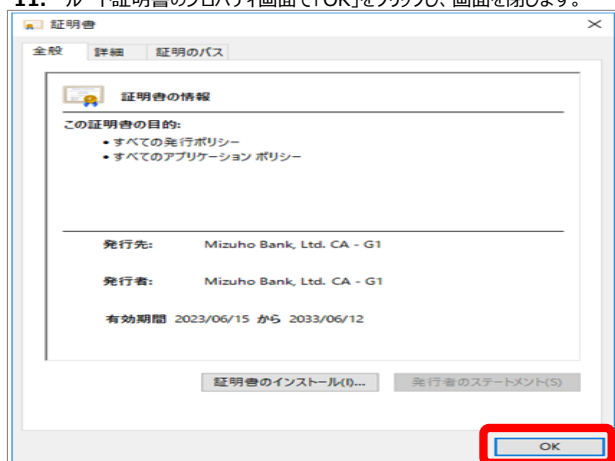
補足

・「完了(F)」をクリックした後に、「セキュリティ警告」画面表示された場合は、「はい(Y)」をクリックしてください。

10. 証明書のインポート ウィザードの完了画面が表示されます。「正しくインポートされました。」と表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。

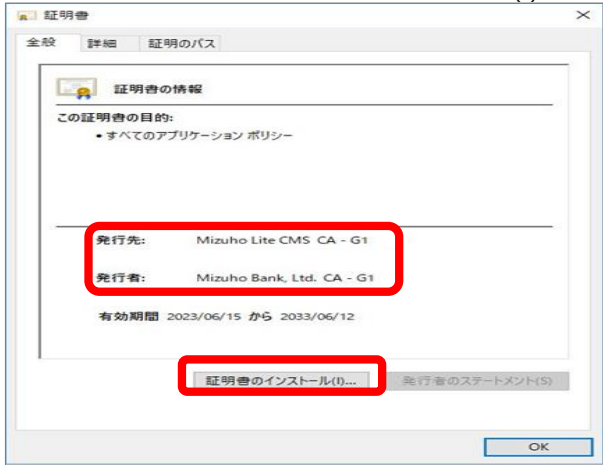


11. ルート証明書のプロパティ画面で「OK」をクリックし、画面を閉じます。

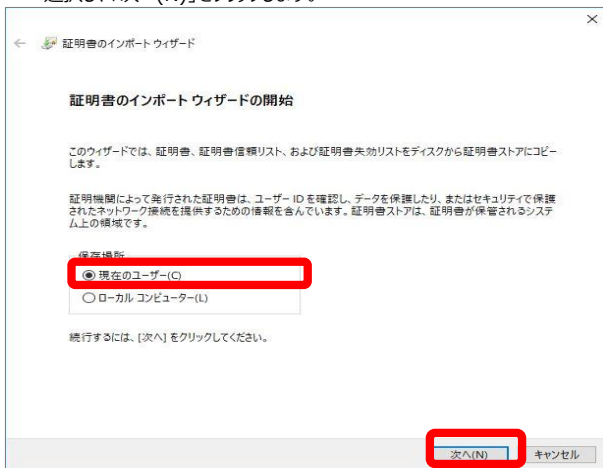


5. 中間認証局証明書インストール

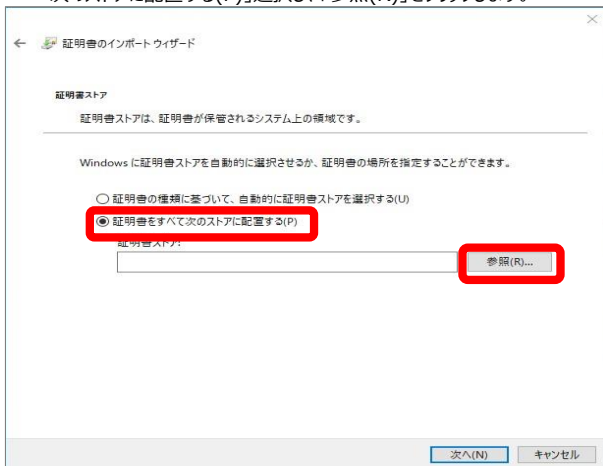
1. ダウンロードした中間認証局証明書 (MZ0001002C.cer) をダブルクリックし、プロパティ画面の発行先欄に「Mizuho Lite CMS」、発行者の欄に「Mizuho Bank, Ltd.」と表示されていることを確認し、「証明書のインストール(I)」をクリックします。



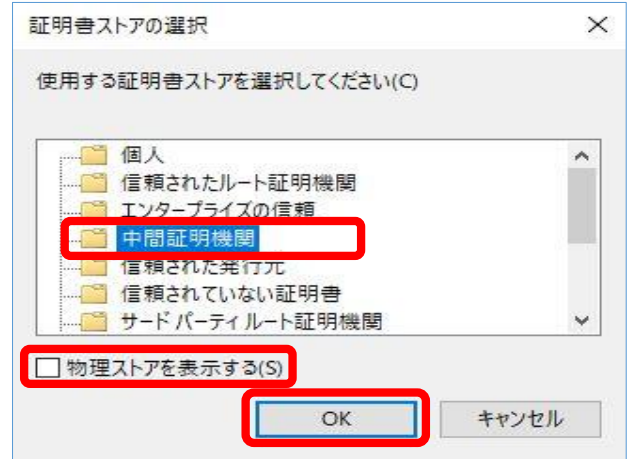
2. 「証明書のインポート ウィザード」画面の「保存場所」にて「現在のユーザー(C)」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



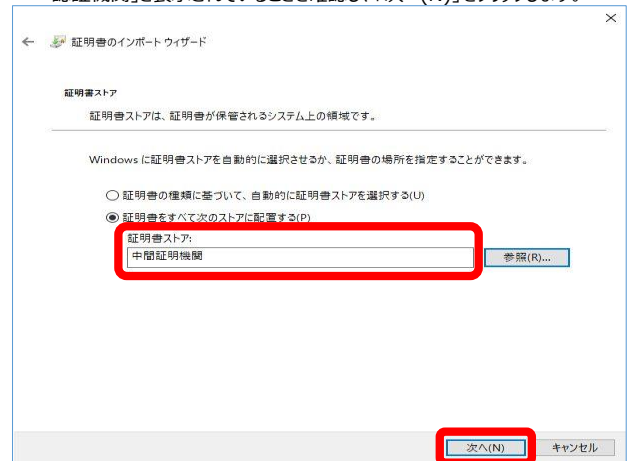
3. 「証明書のインポート ウィザード」画面の「証明書ストア」にて「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」を選択し、「参照(R)」をクリックします。



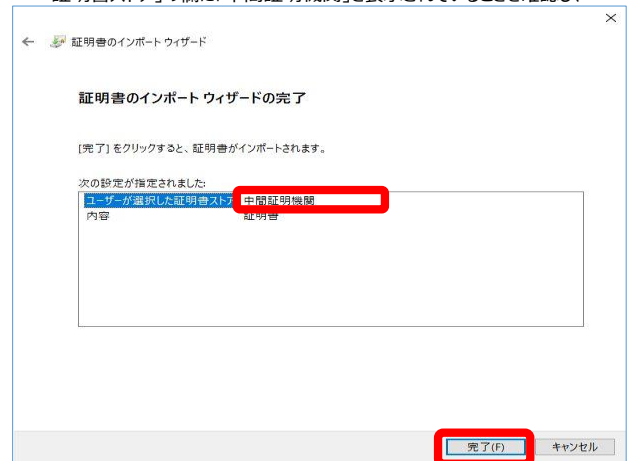
4. 「証明書ストアの選択」画面で「物理ストアを表示する(S)」が選択されていないことを確認します。「中間証明機関」をクリックし、「OK」をクリックします。



5. 「証明書のインポート ウィザード」画面で「証明書ストア」の欄に、「中間認証機関」と表示されていることを確認し、「次へ(N)」をクリックします。



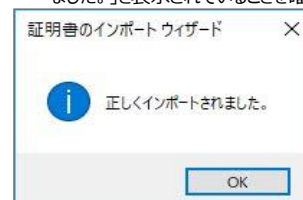
6. 証明書のインポート ウィザードの完了画面が表示されます。「ユーザーが選択した証明書ストア」の欄に「中間証明機関」と表示されていることを確認し、



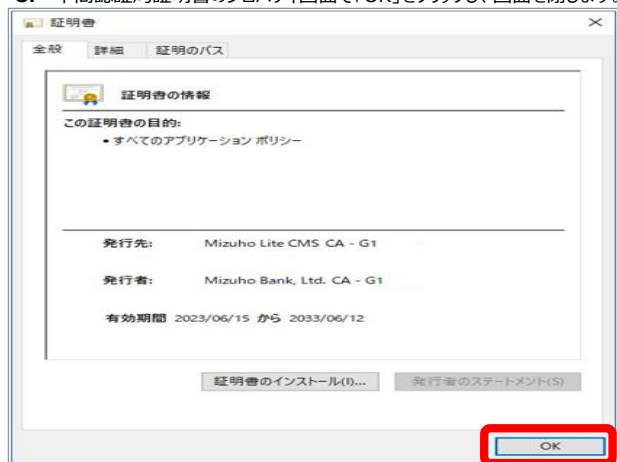
補足

- ・「完了(F)」をクリックした後に、「セキュリティ警告」画面表示された場合は、「はい(Y)」をクリックしてください。

7. 証明書のインポート ウィザードの完了画面が表示されます。「正しくインポートされました。」と表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。



8. 中間認証局証明書のプロパティ画面で「OK」をクリックし、画面を閉じます。



6.電子証明書発行アプリケーション/電子証明書更新

1. 電子証明書の有効期限満了の30日前および7日前になりましたら、電子証明書に記載されているユーザのメールアドレス宛に、以下のようなまもなく有効期限が満了する旨のメールが送信されますので、ご確認ください。

【重要】「Mizuho Lite CMS」電子証明書更新のお願い

info.cms@mlcms.mizuho.co.jp
宛先 mlcms.test02@outlook.jp
署名者 info.cms@mlcms.mizuho.co.jp

返信 金銭に返信 転送
2024/01/17 (水) 6:30

① フラグを設定します。2024年3月28日水曜日に完了しました。

平素より、Mizuho Lite CMS をご利用いただき、ありがとうございます。

お客さまがご利用されている証明書は、まもなく有効期限を迎えます。
つきましては、下記有効期限までに必ず証明書の更新をお願いいたします。

証明書が有効期限切れとなってしまった場合は、1週間程度、サービスをご利用いただけなくなることがありますのでご注意ください。

【更新が必要な証明書】
証明書ユーザ ID CMSM950-006-401
証明書有効期限 2024/02/16

【証明書更新方法】
以下 URL にあります「Mizuho Lite CMS 証明書マニュアル」にてご確認ください。
URL : https://www.mizuho.co.jp/corporate/ebusiness/shikin/advanced_cms/index.html

このメールは証明書の有効期限から 30 日程度前に、該当する証明書の発行時にご登録いただいたメールアドレス宛に送付しています。

補足

- 電子証明書の更新は、有効期限満了の60日前から可能です。メール受信前でも実施いただけます。
 - 電子メール受信時に、S/MIME中間CA証明書がメールサーバまたはご利用端末にインストールされていない場合、電子署名(※1)が自動で付与されません。S/MIME中間CA証明書を事前もしくはメール受信時に手動でインストールすることで認証が可能です。なお、電子署名が付与されていない状態でも、メールをご確認いただくことは可能です。
 - 電子メール受信時に、メールセキュリティソフト「ProofPoint®」等を利用している場合、メール本文のURLが自動変換される等により電子署名が自動で付与されない場合があります。
- (※1) ご利用のメールソフトによって電子署名の表示方法は異なります。
- 例えば、Microsoft Outlook®の場合は、上記メール右上に赤いボンの認証マークが表示されます。

2. Microsoft EdgeもしくはGoogle Chromeを起動し、以下のURLを入力してMizuho Lite CMS電子証明書発行・更新サイト(以下、「電子証明書発行・更新サイト」)にアクセスします。

URL	https://www.ccissue.opencanvas.ne.jp/issueweb/0001/MZ0001002C/
-----	---

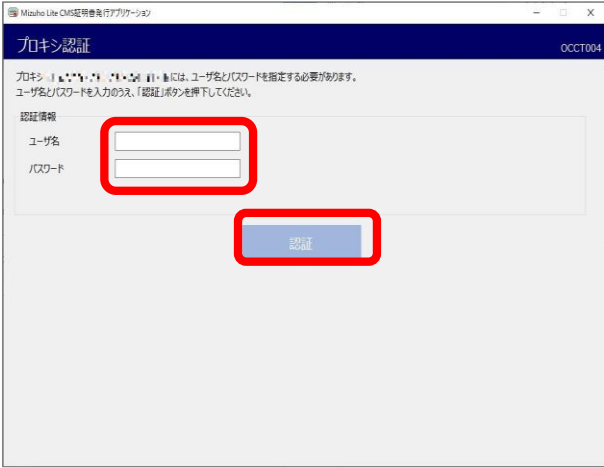
3. [電子証明書 更新]をクリックします。



4. 「証明書発行アプリケーションを起動」をクリックし、証明書発行アプリケーションを起動します。



5. プロキシでの認証が必要な場合は「プロキシ認証」画面が表示されます。「ユーザ名」、「パスワード」を入力し、「認証」をクリックします。

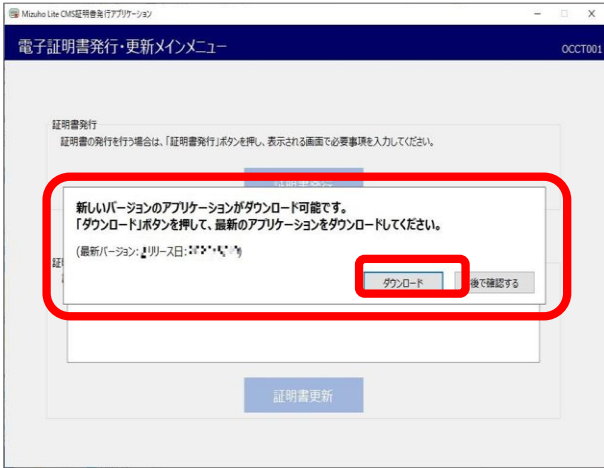


補足

- プロキシ認証画面で入力する「ユーザ名」「パスワード」は会社・組織によって異なります。ご不明な場合はご担当者までご確認くださいようお願いいたします。

6. 「新しいバージョンのアプリケーションがダウンロード可能です」が表示された場合、「ダウンロード」をクリックすることでアプリケーションの更新が可能ですので、項番6.7をご確認の上、アプリケーションの更新をお願いいたします。

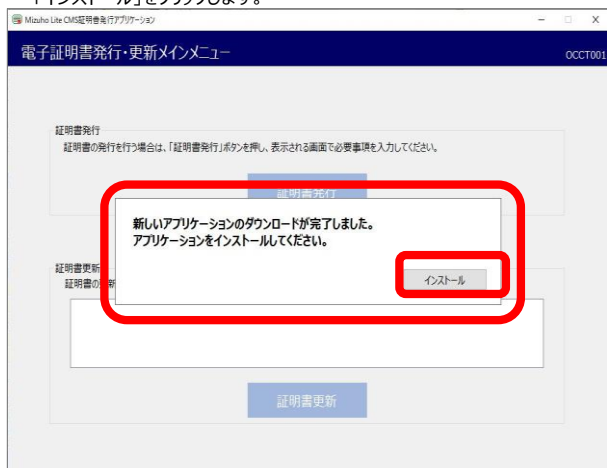
電子証明書の更新については項番8.9.10をご確認ください。



補足

- 現在のバージョンのソフトウェアが継続して使用できる場合には「後で確認する」が表示されます。お急ぎの場合は「後で確認する」をクリックすることで、ダウンロードをスキップすることが可能です。

- 7.「新しいアプリケーションのダウンロードが完了しました。」が表示されます。
「インストール」をクリックします。



- 8.「アプリケーションの更新が完了しました。再起動してください。」が表示されます。
「終了する」をクリックしアプリケーションを終了します。



- 9.「電子証明書発行・更新メインメニュー」画面が表示されます。
更新対象となる電子証明書を選択し、「証明書更新」をクリックします。



- 10.「電子証明書 発行」画面が表示されます。
証明書情報を確認して、「更新」をクリックします。



補足

- ・更新後も古い証明書は端末上に残りますので、不要となった証明書は削除をしていただくようお願いいたします。削除方法は以下の通りです。
1. キーボードのWindowsキーと「R」を押下し、「ファイル名を指定して実行」を起動します。
 2. 「名前(O)」に「certmgr.msc」を入力してENTERキーを押下し、証明書マネージャを起動します。
 3. 左側の一覧から「個人」→「証明書」をクリックします。
 4. 削除する対象の証明書を右クリックし「削除(D)」をクリックします。
 5. 表示されたダイアログで「はい(Y)」をクリックします。

7.問題発生時の対処方法

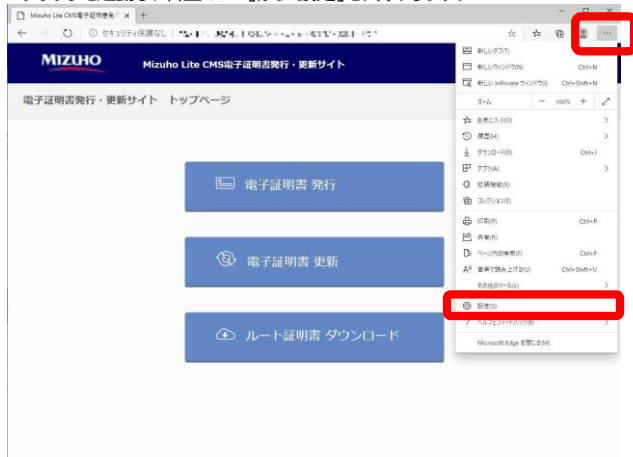
1. ルート証明書・中間認証局証明書ダウンロードができない場合、

以下の原因が考えられます。

- ・キャッシュやCookieなどが原因で正常に作動しないことがあります。
キャッシュやCookieを削除することで、正常に作動する場合があります。
- ・ダウンロードはできているものの保存先が変わっており、ダウンロードファイルが見つからなくなっている場合があります。
保存先設定を変更することで、正しい場所に保存することができます。

(1)キャッシュ・Cookieの削除方法

・ブラウザを起動し、右上の「…」から「設定」をクリックします。



・「設定」が表示されますので、「プライバシー、検索、サービス」をクリックします。



・「閲覧データをクリア」の設定から「クリアするデータの選択」をクリックします。



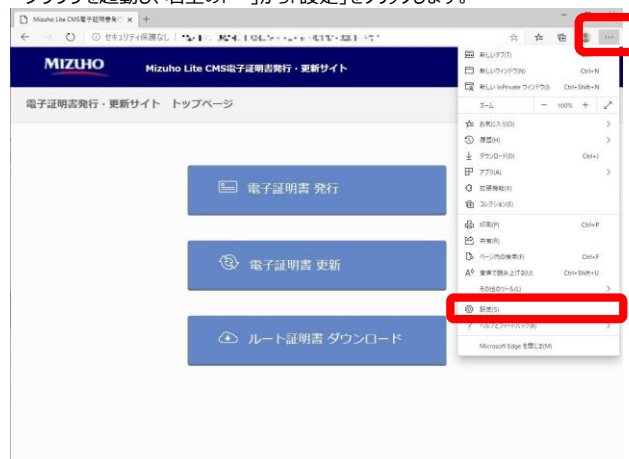
・「閲覧データをクリア」が表示されます。「時間の範囲」で任意の期間を選択し、「Cookie およびその他のサイト データ」と「キャッシュされた画像とファイル」にチェック (✓) を入れ、「今すぐクリア」をクリックします。



以上でキャッシュ、Cookieの削除は完了です。

(2)保存先の設定変更

・ブラウザを起動し、右上の「…」から「設定」をクリックします。



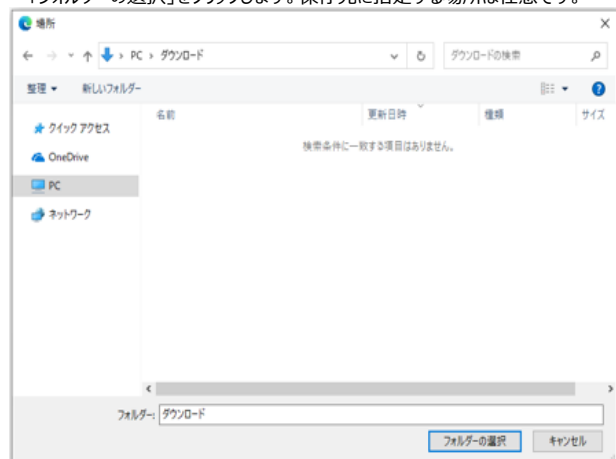
・「設定」が表示されますので、「ダウンロード」をクリックします



・「ダウンロード」の設定から「変更」をクリックします。



・「ダウンロード」の設定から「変更」をクリックします。「フォルダー」を指定・入力して、「フォルダーの選択」をクリックします。保存先に指定する場所は任意です。



以上で保存設定の変更は完了です。

2. パスワードをロックしてしまった場合

- ・パスワードをロックしてしまった場合は、パスワードの初期化が必要となります。
統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。

3. パスワードを失効してしまった場合

- ・パスワードを失効してしまった場合は、パスワードの再発行が必要となります。
統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。

4. 電子証明書の更新期限が過ぎてしまった場合

- ・電子証明書の更新期限を過ぎてしまった場合は、電子証明書の再発行が必要となります。
統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。

5. メールアドレスを変更したい場合

- ・電子証明書の更新期限を過ぎてしまった場合は、電子証明書の発行が必要となります。
統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。

6. 利用するパソコンを変更する場合

- ・利用するパソコンを変更する場合は、電子証明書の再発行が必要となります。
統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。

7. エラーが表示された場合

- ・エラーが表示された場合、画面上に表示される【お問合せ窓口】まで統括会社さまよりご連絡ください。

8. 電子証明書の秘密鍵が外部の他社に漏れた場合

- ・電子証明書の秘密鍵が外部の他社に漏れた場合、不正にログインされる可能性があります。
外部の他社に漏れた場合、すぐにクライアント証明書の失効手続きが必要となります。
電子証明書の失効は、統括会社さまよりお取引営業部店までご連絡ください。